第17回日本計画行政学会計画賞（2017年度）申請書・推薦書記入要領

申請書（含む応募計画書本文）・推薦書は、予備審査の際の資料となるものです。ついては、下記の要領に従って作成し、**2017年12月15日(金)（必着）までに**日本計画行政学会「計画賞」事務局に提出してください。

A 申請書記入作成上の注意

1　「応募計画名」は必ず記入してください。

2　「応募者」は、団体名を記入してください。

3　「応募代表者1」「応募者2」は、代表が1名の場合には「応募代表者1」のみ記入してください。行政等が応募代表者1となり、対象計画の立案、策定、実施に貢献したコンサルタント・シンクタンク等が存在する場合は「応募者2」に記入することで、受賞対象者として表彰の対象となります。

4　「連絡担当者」は1名でも構いませんが、可能な範囲で2名の情報を記入してください。

5　「推薦者氏名」は、別添推薦用紙の記入を行った者の氏名を記入してください。推薦者の資格については、「C 推薦書記入上の注意」を参照してください。

6　共同応募の場合は、「共同応募者」に全員の名前を記入してください。個人応募の際は、空欄で結構です。もし、共同応募者全員の氏名が枠内に収まらない場合には、別紙に記入の上添付してください。また、共同応募者が個人ではなく組織・団体の場合には、組織・団体名を記入してください。

7　「計画策定及び実施主体」には、応募しようとする計画の策定及び実施の主体になった組織、団体の具体名を記入してください。ここで主体というのは、計画の策定、実施に主な責任を負った組織、団体を指します。策定と実施の責任が別の主体に属する場合には、それらを区別して記入してください。

　例：〇〇市、〇〇公社、〇〇の会、〇〇所、〇〇団

8　「計画対象地域」には、応募しようとする計画の対象地域を記入してください。ただし、計画の性格が特定の地域を想定していない場合には、記入の必要はありません。

9　「評価の対象となる計画活動の期間」は、審査の対象として着目して欲しいと応募者が考えている期間を記入してください。

　例：20XX年X月から20XX年X月

10　「応募対象計画のキーワード」は、「主題」、「プロセス」、「主体」の3つの側面について記入してください。

　・「主題」には、応募しようとする計画が扱っている主題をもっともうまく表現するキーワードを３つまであげてください。

　例：総合計画、地球環境との調和、高齢化への対応、情報化、国際化、地域興し、効率的行財政運営、中心市街地活性化、広域行政 etc.

・「プロセス」には、審査の対象として着目して欲しいと応募者が考えている計画プロセスの段階すべてにチェックを記入してください。

・「主体」には、応募しようとする計画の主体の分類にもっとも近いものに該当する１つにチェックを記入してください。

「公共部門」とは、国、県、市、町、村、広域行政圏、公社、公団等の公共の団体、およびそれらが共同してできた横断的な団体、組織を指します。

「民間部門」とは、営利的な民間企業、青年会議所、商工会議所、消費者団体、社会福祉協議会等の非営利組織、NPO、NGO 等の市民運動グループ、ネットワーク、及びそれらが共同してできた横断的な団体、組織を指します。

「公民共同」とは、第３セクター等「公共部門」と「民間部門」の主体が公民の境界を超えて連携、共同してできた横断的な団体、組織を指します。

11 「計画の内容以外に評価に際して着目して欲しい点」に該当するもの全てにチェックを記入してください。「その他」にチェックを付けた場合には、その内容を具体的に記述してください。

B 応募計画書　本文の記入作成上の注意

1 本文は、特に所定の用紙を用意していませんが、以下に定める書式に従って作成してください。

2 A4 版の紙、縦、横書きを使用してください。書式の目安は次のとおりです。
1 頁の字数：40 字×38 行、上下の余白：2.5cm、左右の余白：2.5cm。

3 本文は、次の内容を必ず含む章構成にしてください。
1 計画の概要
2 計画の特徴および優れている点
3 計画の問題点および改善の方策
4 応募者の計画への関わり
5 2 および 4 の主張を確認する手段方法

4 各章の分量は、図表を除いておおよそ以下を目安にしてください。

1 計画の概要	1 頁（約 1500 字）
2 計画の特徴および優れている点	1 頁（約 1500 字）
3 計画の問題点および改善の方策	0.5 頁（約 750 字）
4 応募者の計画への関わり	0.5 頁（約 750 字）
5 2 および 4 の主張を確認する手段方法	0.5 頁（約 750 字）

分量は、若干の増減があっても構いませんが、全体の分量は、図表を除いた字数で 6,000 字を越えないように、また図表を含めた頁数で 8 頁を越えないようにしてください。

5 本文中に使用する図表は、必要なだけ使用してもかまいません。ただし、A4 版縦の紙幅に収まるようにしてください。その他説明のために参考となる資料を添付しても構いませんが、その資料が無くても審査ができるように、本文は完結したものとしてください。

6　「計画の概要」には次の内容を簡潔に記述してください。ただし内容の書き方、構成、分量の配分は自由です。

・計画策定の背景、経緯

・計画の理念及び達成しようとする目的、ビジョン

・目的達成のための戦略、手段の体系、事業スケジュール

・計画の進捗状況、何を達成して、何を達成できなかったか

・計画の策定、実施、評価において苦労した点、政治的、制度的、経済的、資源的制約をどのように乗り越えたのか。

上記の内容にふれながら、全体として、誰が何をしたのか、どのようにして行ったのか、またそれはどのような状況でなぜ行う必然性があったのか、そしてどんな困難をどのようにして乗り越えたのかが明瞭にわかるように記述してください。

7　「計画の特徴および優れている点」には従来の計画あるいは他の計画と比較して、応募しようとする計画のどこに特徴があり、どのような意味で優れているのか、また優れていると主張する根拠、理由は何かを具体的に記述してください。特に、計画の効果が明確に説明できる場合には、それを明らかにしてください。ただし内容の書き方、構成、分量の配分は自由です。

計画の特徴を捉える視点としては、以下のものが考えられます。

・計画内容の特徴として

　　主題の特徴、コンセプトの特徴、戦略の特徴、実現手段の特徴

・計画プロセスの特徴として

　　計画策定、計画実施、進行管理、評価、見直しのプロセスの特徴

・計画の主体、組織の特徴

・計画の手法、技術の特徴

これらの中で特に、着目して欲しいものにメリハリをつけて記入してください。ただし、上記の視点以外に特徴がある場合には、上記の分類にこだわらず自由に主張を展開してください。

8　「計画の問題点および評価」には、応募しようとする計画の問題点、および今後の改善の方策や方針について記入してください。内容の書き方、構成、分量の配分は自由です。

9　「応募者の計画への関わり」には、応募者が計画の策定、実施、評価の中で果たした役割を具体的に記入してください。また、民間シンクタンク、学識経験者、コンサルタント等の他の知的資源を活用した場合には、それらの具体名を上げ、どのように活用したか書いてください。内容の書き方、構成、分量の配分は自由です。

10　「2 および 4 の主張を確認する手段方法」には、「計画の特徴および優れている点」、「応募者の計画への関わり」で記述した内容、あるいは主張を確認するために参考となる報告書、調査等の図書、および参考意見を聞くことのできる人の名前をリストにして整理してください。なお、図書リストには、図書名、著者、発行人、発行年月日、その図書によって確認できる事項が本文の内容のどこに対応するのか、明らかにしてください。参考意見を聞くことのできる人の名前のリストには、氏名、所属組織、報告書、その図書によって確認

できる事項が本文の内容のどこに対応するのか明らかにしてください。また、調査等の図書で送付可能なものは、追加説明図書として送付してください。

C 推薦書記入上の注意

1　応募者は、各支部推薦人、または、日本計画行政学会の正会員から、推薦を受けてください。ただし、学会員（正会員、機関会員、特別会員）が応募する場合、もしくは応募者の中に会員がいる場合には、他の正会員の推薦を受ける必要はありません。

2　推薦書の記入は、添付しました所定の用紙に推薦者本人が記入してください。

3　推薦書は、登録番号と応募計画名を応募者があらかじめ記入の上、推薦者にお渡しください。なお、記入後、推薦書は、**2017 年 12 月 15 日（金）（必着）**までに推薦者から直接、事務局宛にお届けください。

●各支部推薦人連絡先●

１．北海道支部
［推薦人］押谷　一（酪農学園大学農食環境学群教授）
［連絡先］TEL：011-388-4837
E-mail: hajime@rakuno.ac.jp

２．東北支部
［推薦人］風見　正三（宮城大学事業構想学部教授）
［推薦人］佐々木秀之（宮城大学事業構想学部准教授）
［連絡先］TEL：022-377-8357
E-mail：sasakih@myu.ac.jp

３．関東支部
［推薦人］矢尾板　俊平（淑徳大学コミュニティ政策学部准教授）
［連絡先］計画賞事務局（担当：望月）
TEL：045-924-5550
E-mail:　jappm17@gmail.com

４．中部支部
［推薦人］秀島　栄三（名古屋工業大学大学院工学研究科・工学部教授）
［連絡先］支部事務局：(公財)中部圏社会経済研究所（担当：折戸）
TEL：052-212-8790
E-mail：orito@criser.jp

５．関西支部
［推薦人］鐘ヶ江　秀彦（立命館大学政策科学部教授）
［推薦人］濱田　学昭（街づくり支援センター代表）
［連絡先］支部事務局：㈱地域計画建築研究所大阪事務所（担当：森脇）
TEL：06-6942-5732
E-mail：info@arpak.co.jp

６．中国支部
［推薦人］三村　聡（岡山大学地域総合研究センター教授）
［推薦人］伊藤　敏安（広島大学地域経済システム研究センター教授）
［推薦人］澤　喜司郎（山口大学経済学部教授）
［連絡先］支部事務局：伊藤敏安（広島大学地域経済システム研究センター教授）
TEL：082-542-6993
E-mail：itot@hiroshima-u.ac.jp

７．四国支部
［推薦人］正岡　利朗（高松大学経営学部教授）
［推薦人］松村　豊大（徳島文理大学総合政策学部教授）
［連絡先］TEL：088-602-8519
E-mail：matumura@tokushima.bunri-u.ac.jp

８．九州支部
［推薦人］今泉　博国（福岡大学経済学部教授）
［推薦人］深川　博史（九州大学経済学研究院教授）
［連絡先］TEL：092-642-3164
E-mail: fukagawa@econ.kyushu-u.ac.jp

D 送付先

1　申請書(含む応募計画書本文)は、それぞれ **1 部ずつ複写して、計 2 部作成し、2017 年 12 月 15 日(金)(必着)**までに下記に郵送してください。さらに、**同電子ファイル1組をメールに添付し事務局宛に送付**してください。

2　ホチキス止めせずクリップなどでとめて提出してください。

〒226-8502　神奈川県横浜市緑区長津田町 4259-G5-9 東京工業大学 環境・社会理工学院 融合理工学系 村山・錦澤研究室内　計画賞事務局　望月　宛て

E その他の注意

1　推薦書は、推薦者から直接、事務局宛にご送付ください。

2　申請書以外に、参考となる図書（ビデオ等を含む）を追加する事は自由です。ただし、追加図書が無くても審査ができるように、申請書を作成してください。

3　申請書、応募計画書、推薦書の記入は、日本語とします。本文および追加図書については、日本語または英語とします。

4　採用不採用にかかわらず申請書、応募計画書、推薦書は返却しません。その他の追加図書も原則として返却しません。

5　応募計画書の著作権は応募者に帰属しますが、応募者は、主催元に対してこれをインターネットおよび出版物へ掲載する権利を許諾するものとします。

6　予備審査の結果は、2018 年 1 月下旬に予備審査通過者に対して文書で通知されます（手紙や電話による問い合わせには原則として応じません。)。最終審査は 2018 年 2 月 23 日(金)に、予備審査通過者による公開プレゼンテーション（会場予定：中央大学駿河台記念館）を行った後、最終審査会を開き、賞を決定します。

申請書の記入に関しては、下記へお問合せください。

日本計画行政学会　計画賞事務局
東京工業大学　環境・社会理工学院　村山・錦澤研究室　　担当　望月
〒226-8502　横浜市緑区長津田町 4259-G5-9
TEL 045-924-5550　FAX 045-924-5551
E-mail：jappm17@gmail.com